

平成31年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	明解 世界史A (帝国出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歴史という時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

- ・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
- ・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取りたり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ノート プリント	定期考査 ノート プリント	定期考査 ノート プリント	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	名 単 元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価 方法
			a	b	c	d		
1 学 期	前 近 代 の 諸 文 明	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の始まり ・東アジアの文明 ・南アジアの文明 ・東南アジアの文明 ・西アジア・北アフリカの文明 ・ヨーロッパの文明 ・南北アメリカの文明 ・ユーラシアの交流圏 	○	○	○	○	a: 前近代に形成された諸文明の特質と、各地の交流について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 前近代の諸文明と交流の特質を見だし、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 前近代に諸文明と交流の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート・プリント
	一 体 化 に 向 か う 世 界	<ul style="list-style-type: none"> ・繁栄するアジア ・大航海時代と新たな国家の形成 	○	○	○	○	a: 大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 設定された時代の諸地域の特質を見だし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d: 大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート・プリント

2 学期	欧米の工業化とアジア諸国の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・自由主義・ナショナリズムの進展 ・アジア諸国の動揺 ・東アジアの大変動 	○		○	○	<p>a:18 世紀後期以降の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立、ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌の特質を見だし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>d:18 世紀後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ノート・プリント
	現代社会の芽生えと世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・現在につながる社会の形成 ・第一次世界大戦がもたらしたもの ・“民族自決”を求めて ・経済危機から第二次世界大戦へ 	○		○	○	<p>a:19 世紀末から 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:20 世紀という時代の特徴、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめている。</p> <p>d:20 世紀という時代の基本的な事柄や、二つの世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p>	定期考査 ノート・プリント

3 学期	冷戦から地球社会へ	・冷たい戦争の時代 ・冷戦終結への道のり ・地球社会への歩み ・持続可能な社会をめざして	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b: 第二次世界大戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 第二次世界大戦後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ノート・プリント
---------	-----------	---	---------------------	---------------------	---------------------	--	------------------

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。